

地域力創造に関する有識者会議 最終取りまとめ概要

地域力とは

- ・地域力には地域資源や人的要素、社会的要素、経済的要素など多様な要素・内容が含まれている。地域を活性化させる要因としては、究極的には人材力の要素が大きいのではないか。
- ・自らの地域の魅力、資源に気づき、それを磨いていけるよう、地域資源の発掘、再生、創造に人材力を結集していくことが重要。

今後の施策の展開

1 人材力の強化に向けた取組

- ・第1の柱：個々の人材力の育成強化
様々な場において世代や分野を超えた多様な個人が人材力を身につける機会を豊富に提供する。
- ・第2の柱：人材力の相互交流とネットワークの強化
公務員、NPOなどの様々なバックグラウンドを持つ人々が様々な形で相互に交流する機会を設ける。
- ・第3の柱：人材力を補完するための外部人材活用に対する支援
地域の人材力を補完するため、外部の人材を派遣するための取組に対して支援する。

2 地域固有の資源を活用した地域力の高め方

- ・第1の視点：地域資源の発掘、再生、保全、充実
自分たちの地域にどのような地域資源があるかつぶさに把握し、客観的に把握することが重要である。
- ・第2の視点：地域資源を活かした産業と人材力との結合による地域づくり
地域資源に適合した産業を振興させることが必要。また、地域における大学と積極的に連携・協働をすべき。
- ・第3の視点：地域づくりの評価視点
地域力を測るバロメーターとしては、人口、経済・産業に関する指標が採用されることが多いが、一人ひとりが元気にいきいきと過ごせるといふことも地域の力となりうる。両者のバランスが取れた地域づくりをすべきである。

3 これからの国の地域づくりへの支援策

- ・今後は、個別補助金の廃止や一括交付金の具体的な制度設計等を踏まえ、地域の内発的で主体的な取組を国の関係府省等が縦割りを排除しながら連携し、後押ししていくという形が望ましい。

地域力創造に関する有識者会議

趣旨・経過

- ・地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、地方自治体・住民・企業等の協働により、地域力を高めていくために、どのような施策に取り組んでいけばよいかについて検討することを目的に設置
- ・平成20年11月4日、第1回開催
- ・首長アンケート、地域力向上に取り組む有識者や関係府省等からのヒアリングも実施し、計10回にわたり議論
- ・平成21年7月に、今後の地域力創造の基本は「地域資源の有効活用」と「人材力の強化」であるとした「中間とりまとめ」を発表

メンバー

- ・月尾 嘉男【座長】 東京大学名誉教授
- ・あん・まくどなると 国連大学高等研究所いしかわかなざわオペレーティング・ユニット所長
- ・飯盛 義徳 慶応義塾大学総合政策学部准教授
- ・江尻 京子 NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長
- ・小田切 徳美 明治大学農学部教授
- ・小西 砂千夫 関西学院大学大学院経済研究科教授
- ・杉澤 正子 NPO法人かぞ市民ネット理事長
- ・堂垣 彰久 NHKチーフプロデューサー
- ・名和田 是彦 法政大学法学部教授
- ・西村 幸夫 東京大学先端科学技術研究センター教授